

東建パブリニュース

平成27年10月26日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

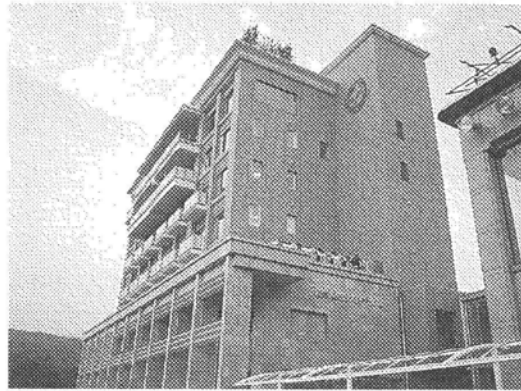
掲載

平成27年10月23日 中部経済新聞 P. 2

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

初の会員制リゾートホテル完成

東建
コーポ
25日オープン



25日オープンする「ホテル多度温泉 レジデンス新館」

東建コーポレーションはこのほど、三重県多度町に建設した会員制リゾートホテルの内覧会を開催した。会員制リゾートホテルの運営は初めて。25日、開業する。

新施設「ホテル多度温泉 レジデンス新館」は、同社が運営するゴルフ場「東建多度カントリークラブ・名古屋」の敷地内にオープンする。地上8階建てで、延べ床面積は4266平方メートル。総客室21室のうち13室は会員制ホテル、8室は一般客向けのホテルとする。

会員制ホテルは、1部屋につき12口の会員権を販売し、1人当たり年間30泊ずつ共有する仕組み。会員権は1部屋440万～880万円で、30年間利用できる。部屋は無記名のチケットで利用できるため、購入者以外も利用可能。

館内には、会議や研修などに利用できる多目的ルームや、天然温泉を使用した温泉プール、シミュレーションゴルフの練習場などの設備も充実している。企業の社内コンペや研修などの需要に応える。

左右田稔社長は「ホテル館内や周辺には草花や木を配置するなど、ガーデニングの要素を取り入れたのが特徴。自然を楽しめる、今までにない施設」と話している。

▲ 平成27年10月23日 中部経済新聞 P. 2

以上